

第十小学校の取り組み

下里小学校との統合に向けて、第十小学校では「本校のよさを十分にいかしながらも、下里小学校のよさを取り入れて融合しながら高め合うことができるようにする」という校長の方針の下、さまざまな交流活動を進めてきました。

4月には、下里小学校の3・4・5年生、第十小学校の3・4年生による合同遠足を行いました。オリエンテーリングや学年遊びなど両校の交流ができるように活動内容を工夫し、子どもたちからは「仲良くなれてうれしかった」という感想が聞かれました。5月には、3年生が「町たんけん」の発表会を行いました。第十小学校の子どもたちが下里小学校へ行き、お互いの学習内容を発表し合うことで、遠足に続く交流ができました。9月には4年生が柳泉園の見学に行き一緒に学ぶことで、お互いをさらに身近に感じることができました。10月には、第十小学校の伝統的な児童会活動である「竹の子まつり」に下里小学校の全児童を招待し、下里小の子どもたちには「竹とんぼ作り」に挑戦してもらいました。下里小の子どもたちの「一緒に楽しみたい」という思いと、第十小の子どもたちの「自分たちのおまつりを楽しんでもらいたい」という気持ちが通じ合う交流ができました(写真2)。



竹の子祭り 写真2



写真3

↑希望の種プロジェクト(展覧会)あたり、両校の保護者の皆様をはじめたくさんの方々にご協力いただいたことを感謝します。(市立第十小学校 統合準備主任主幹教諭 高木 潤子)

(1面から続く) には下里小学校に行き、交流を行いました。下里小学校の児童は、本校の児童数の多さに驚いていましたが、すぐに仲良く打ち解け合って、遊ぶことができました。「鬼ごっこ」「猛獣狩りに行く」「なご校庭いっはいを使って楽しむ」ことができました。また、12月には、今度は下里小学校の1・2年生が本校にきました。お正月に行う普遊ひの交流を行い、楽しく過ごしました。

(写真1)。この1年間、それぞれの学年で計画した行事は、どれも良い交流となりました。令和2年度には大勢の児童が、各クラスに入ることにあります。同じ下里地域で、幼稚園や保育園時代を過ごした友達もいて、楽しみにしている児童もいることでしょう。



写真1

ます。(市立第七小学校 教務主任主幹教諭 菅原 康人)

《実施概要》

日時…令和元年7月4日 対象…小学校5年生及び中学校2年生 教科…国語、社会、算数・数学、理科、英語(中学校)

表1 国語、社会、算数・数学、理科、社会の平均正答率

教科	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校	65.3 (67.0)	61.8 (66.3)	54.8 (60.0)	52.9 (56.6)	
中学校	70.3 (71.9)	47.5 (51.8)	51.8 (54.5)	48.8 (49.5)	53.9 (57.5)

※カッコ内は都の平均正答率

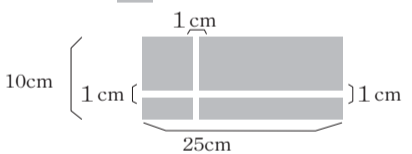
ジックリ解いてね。回答は4面にあります。

※編集の都合で設問のレイアウトを変えています。



小学校

【算数】次の図の部分の面積を求めましょう。

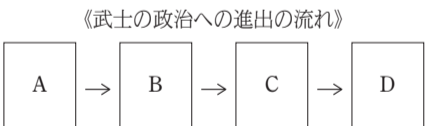


全体から部分を引く際、「10×25-10×1-1×25=215」と考え、重なっている部分を2回引いてしまった誤答が多く見られます。

《この問題の正答率は…》 都: 42.3% 市: 31.5%

中学校

【社会】武士の政治への進出の流れについて、次の図にまとめました。図のA～Dにはア～エのいずれかが当てはまります。Bに当てはまるものとして最も適切なもの一つを選び記号で答えなさい。



- ア 保元の乱
- イ 壇ノ浦の戦い
- ウ 平将門の乱
- エ 院政の開始

《この問題の正答率は…》 都: 20.5% 市: 16.0%

「鎌倉時代の政治体制を他の時代と比較したり関連付けて捉えるという、社会的現象についての知識・理解」に課題が見られます。

【英語】英語の授業でスピーチをしている場面です。

I have a dog. Her name is koko. She is very big, but she () eat very much.

A doesn't B isn't C won't D aren't

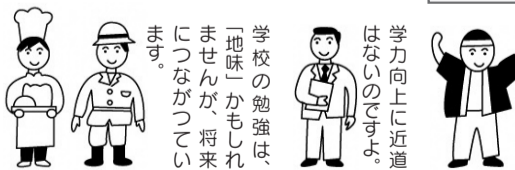
「do, does」の用法の理解に課題が見られます。

《この問題の正答率は…》 都: 53.2% 市: 38.9%

【数学】2÷(-6)÷3を計算しなさい。

《この問題の正答率は…》 都: 40.1% 市: 31.5%

特に、今回の設問のような、正負の数の除法と等式を変形して解くことに課題が見られます。



令和元年度

東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果をお知らせします

市教育委員会では、児童・生徒の学力向上を図るため、全国や東京都による調査のほか、市独自の調査も実施しています。今号では、令和元年度東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果から、定着が不十分な(平均正答率が低い)問題を中心に、本市の課題を探ります。まずは、正答率が低かった小・中学生の問題のうちの幾つかを取り上げます。

東京都と市の平均正答率は、表1のとおりです。教科全体で、小・中学校のいずれも東京都の平均を下回っていました。この調査結果は、昨年の10月に開催した教育委員会定例会で報告しました。

《新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を》 調査結果は解答だけではなく、教員が日常、どのような指導を行っているのかを聞いて指導を行っているのかを聞いた設問や、児童・生徒が授業等について答える、「質問紙調査(意識調査)」があります。いずれの調査結果も、各学校にフィードバックされています。学校への設問のうち、「授業の中で目標を児童・生徒に示す活動を計画的に取り入れている」「さまざまな考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしている」については昨年に比べ、かなりポイントが伸びています。「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている」については、中学校では「よく取り入れている」が、東京都全体平均の倍以上という結果でした。

教育委員会からも「授業の振り返りをきちんと行っている自負は、教員に大いにもってほしい。すぐに学力アップに結びつかなくても、自信をもって指導してもらうこと」を、詳しくは指導室 ☎470・7781へ。

TOPICS

1 生徒が描いた、公園内トイレの輝く外壁

夏の暑さが続き、木陰がうれしい9月初旬。市立西中学校美術部の生徒たちが昨年の5月から構想を始め、その後約半年間、放課後や休日を利用して、「はくさん公園」内の公衆トイレの外壁を塗り直す作業を行ってきましたが、いよいよこの日が正式なお披露目となりました(写真4)。



写真4

2 生涯学習センターの指定管理者決定

「生涯学習センター」は、市民の皆さんの学びを支える市の施設です。

市では、平成22年度から当時の公民館に指定管理者を導入し、生涯学習施策の推進を進めてきました。現在の指定管理者の指定期間が令和2年3月31日で満了となるため、令和2年度から6年度までの5年間の指定管理者を決める議案が、令和元年第4回市議会定例会で承認されました。事業者は、「JN共同事業体(株式会社JTB)」「コミュニケーションデザイン(代表団体)」「野村不動産パートナーズ株式会社(構成団体)」です。市から生涯学習事業の委託を受けているNPO法人市文化協会とともに、これからの事業の充実を図り、生涯学習の拠点としての役割及び市民の皆さんが気軽に来館できる施設を目指します。詳しくは生涯学習課生涯学習係 ☎470・7784へ。